



置賜の高校生らが地域の未来について議論したフォーラム
 米沢市民文化会館

地域課題 若者が考える

未来を拓く
 フォーラム パネル討論、学習発表

米沢 高校生や若者が地域の未来について議論する「地域未来を拓く若人フォーラム in 置賜」が11日、米沢市民文化会館で開かれ、人口減少などの課題に対して若者や大人がどう向き合うべきかなどを話し合った。

置賜地域の若者の人材育成を支援する米沢有為会(大滝則忠会長)の創立30周年記念事業として開催。パネルディスカッションと、地元高校生による探究型学習の成果発表の2部構成で行われた。

探究型学習の成果発表は同日のステージに加え、同館に隣接するよねざわ市民ギャラリー内でパネル展を開催。置賜地域の13高校と米沢市内の3中学校の学習成果がパネルやポスターなどで紹介されている。展示は19日まで。(阿久津誠)

パネルディスカッションでは、同会の小論文コンテストで優秀な成績を取めた高校生3人と、地域で活躍する30代の社会人2人がパネリストとして登壇。山形大大学院の城戸淳一卓越研究教授が進行役を務めた。